

# 光る未来に全ツツパ。

11

『ミサキ復帰!?ラスト撮影へ』

「とういわけで！今日からスロカップル、再始動です!!」

パワースロット松阪店前、カメラの前で俺は、やたら大きに腕を広げた。

横にはミサキ。

帽子を目深にかぶって、少し照れた顔で立っている。

「お久しぶりです、ミサキです……」

「テンション低いな！もっところ、再結成感出してこー!」

「うるさいよ」

それだけで、コメント欄は爆発していた。

【この空気感！待ってた!】

【結局この2人しか勝たん】

【スロも恋もリバイしろ!】

実戦機種は、

【「戦国乙女4」と「スマスロ北斗の拳」。

久々の並び打ち。「ミサキ」コンビ復活回だ。

「てかさ、なんて再始動なのに乙女なん?」

「うん。戦国だから。人生戦国時代、ふたたびってタイトルにする」

「そのネーミングセンスどうなん」

「ダメ?」

「いや、最高やん……!」

俺の台は、

中途半端にハマって、CZを外しながらたどコインを飲み込むだけの拷問。

「今日の台、俺の人生かもしれない……」

「じゃあ私のは何?乙女乱舞突入しまくりだけと」

「……人生で言う祝われまくってる女やな」

「うるさい」

ミサキは早々に乙女参戦モードに入れて、スピード感のある出玉と演出でパワースロット松阪店の空気を支配していた。

「はい、これで差枚2,000枚」

「さすが引き担当……!」

「もう、運気だけで勝とうとしないで?」

「俺の運はたぶんカメラ回ってないところでしか働かん」

「それ運じゃないから、ただの無能」

動画的には完璧だった。

展開あり、ギャグあり。

コメントが飛び交う未来が見える。

【掛け合い最高すぎる】

【ボケ・タイチ/ツツコミ…ミサキの安定感】

【付き合っても夫婦感あるの草】  
撮影しながら、ふたりの空気が戻ってきてるのを感じた。

実戦を終えたあと、近くのコンビニで缶コーヒを買って、駐車場の奥のベンチに座った。

「……なあ、ミサキ」

「ん?」

「やっぱ、俺ひとりじゃダメだった」

「知ってる」

「……はっや」

「だって、タイチってボケてくれる誰かがおらんと、ただの自爆系なんやもん」

「言い方アアア!」

「でも、そういうところも含めて、スロカップルだと思ってる」

ミサキは、目を細めて笑った。

「……ありがとう」

「でも調子乗ったらまた蹴るから」

「こっわ……」

その日のラストカット。カメラの前で俺が言ったセリフは、ちょっとだけ気合が入っていた。

「次回、光る未来に——全ツツパします!」

照れくさそうに笑うミサキが、隣で頷いた。

「ツツパるなら、未来でしょ?」

コメント欄は【泣ける】【帰ってきた感じ】  
【やっぱこれ】そんな言葉であふれていた。

再生数が全てじゃない。でも、このふたりでしか出せない空気があれば、なんともなる気がした。

「なあミサキ」

「なに?」

「もし未来にツツパるなら、となり、空けといてくれよな」

「……はいはい。調子乗るな」

笑いながら、足元に落ちたメダルの音が、小さく鳴った。

次号に続く……

